まちを想う、仲間とつなぐ　ゆめこらぼの広報誌

ゆめこらぼ通信

vol.88
2026

ゆめこらぼ PEOPLE

第17回 ゆめこらぼ市民協働フェスティバル

ゆめフェス

ゆめこらぼ市民協働フェスティバル実行委員長
佐藤　文俊さん

「地元推しが活力に。地域もあなたもイキイキと！」をテーマに開催される「ゆめこらぼ市民協働フェスティバル。その舞台裏には、実行委員長の佐藤さんをはじめ、公募で集まった市民委員たちが毎月重ねた対話の積み重ねがありました。本記事では、企画に込められた熱い想いや、様々な活動を通じて得られた「地域の繋がり」について詳しく伺います。あなたも来年度、一緒に活動してみませんか？

地域を支える二つの顔

普段はどのような活動を通じて、西東京のまちに関わっていらっしゃるのでしょうか？

ー佐藤さん　現在、NPO法人子どもアミーゴ西東京の事務局長として、市から受託した学童クラブや児童館の運営に携わっています。子どもたちが安心して過ごせる居場所を守ることが、私の大きなミッションです。

その一方で、もう一つの顔が「音」の専門家。趣味の音楽が高じて、地域のイベントでは音響エンジニアとして現場を支えています。子どもたちを支えるソフト面と、イベントの熱量を届けるハード面。この両輪で、大好きなこの街の活動を全力でサポートしています。

ゆめこらぼ INFO

2月23日（月・祝）自治会・町内会×NPOパワーアップ講座開催

「参加」はもっと楽しくデザインできる！ 大人も子どももボランティアも、誰もが主役になれる場づくりで知られる『東京おもちゃ美術館』。年間延べ二万人が集まるその秘密を、山田館長から直接学びます。講話の後は、参加者同士でワイワイ話しながら、自分の団体の「仲間づくり」を実践的にシミュレーション。 活動をさらに盛り上げたい前向きな皆さま、ぜひ一緒に学びましょう！

お申し込みはコチラ▼▼▼
締切　2月16日（月）

3月8日（日）まちづくり円卓会議開催

今回のテーマは「男性がんサバイバーの地域でのつながり方」。男性のがん経験者が安心して集える居場所や、理想のコミュニティについて考えます。当事者の方はもちろん、地域づくりに関心のある方も大歓迎。誰もが自分らしく過ごせる「温かな居場所」のヒントを、一緒に探してみませんか？

お申し込みはコチラ▼▼▼
締切　3月3日（火）

3月21日（土）WA.WA.WA.プロジェクト（若者、我まち、我がごとPJ）始動！

西東京市の未来を担う若者が「わがまち」を「わがごと」と捉え、自ら考え動き出す新プロジェクトが始動します。

その第一弾は、若者チームが企画したWAWAWA講演会。

テーマは「『やりたい』を『やれた！』に変えるリアルなヒント」です。講師は、西東京市出身の脚本家・森野マッシュさん。小・中学生時代をこの街で過ごした「少し年上の先輩」として、「自分に何ができる？」という期待と不安に対し、ご自身の経験を交えたリアルなメッセージを届けていただきます。

- **対象：市内在住・在学・在勤の若者**
- **日時：3月21日（土）　午後2時～3時30分**
- **場所：西東京市南町スポーツ・文化交流センター（きらっと）**

詳細は後日公開される、ゆめこらぼのホームページ、または市報やチラシ等でご確認ください。

「ゆめこらぼ」とは？

「ゆめこらぼ」は、西東京市の市民活動を応援するサポート拠点です！
地域の課題を解決したい市民や団体、企業、行政をつなぎ、新しいまちづくりの形を応援します。「活動を始めたい」という相談から、実践的なスキルアップ講座まで幅広く実施中。 サロンでの打ち合わせはもちろん、印刷機や紙折り機、ラミネーターなどの便利な機器も充実しています。会報やチラシ作りなど、日々の活動にぜひお役立てください。

まちを想う、仲間とつなぐ
ゆめこらぼ
西東京市市民協働推進センター

〒188-0012　西東京市南町5-6-18　イングビル1階
（西武新宿線「田無駅」南口　徒歩2分）
TEL：042-497-6950 / FAX：042-497-6951
email：info@yumecollabo.jp
http://www.yumecollabo.jp
開館時間：月～土 10:00～19:00
休館日　：日曜日・祝日・年末年始（12/28～1/3）

「ゆめこらぼ市民協働フェスティバル（ゆめフェス）」との関わりは？

ー佐藤さん　以前の「ＮＰＯ市民フェスティバル（Ｎフェス）」時代から実行委員として関わり、今年で7年目になります。委員として経験を積み、今回は4回目の実行委員長という大役を任せていただくことになりました。今回は主催である「ゆめこらぼ（西東京市市民協働推進センター）」の運営体制が変わったタイミングでもあり、私自身も新しい風を感じながら準備を進めています。

なぜ「ゆめフェス」に変わったのか？込められた想い。

今回の「ゆめフェス」、大きな変更点はどこですか？

ー佐藤さん　これまでは「ＮＰＯ市民フェスティバル」として親しまれてきましたが、今回から「ゆめこらぼ市民協働フェスティバル（ゆめフェス）」へと名前を刷新しました。「ＮＰＯ」と付くと少し身構えてしまうかもしれませんが、実際はもっと自由で多様な活動が広がっています。だからこそ、今回は「市民」を主役にし、西東京市民協働推進センター「ゆめこらぼ」の名前も身近に感じてもらえるようなネーミングにしました。

楽しみながら地域を知る多様なブースが融合する会場

ー佐藤さん　今回の「ゆめフェス」の魅力は、「社会課題への意識」と「楽しさ」を両立させた場づくりにあります。会場には、赤ちゃん向けフリマや工作ワークショップ、パラリンピックの正式種目でもあるボッチャの体験ブースに加え、性教育、発達・知的障がい、防災、終活といった、地域で今まさに必要とされるテーマを扱う団体が多数参加します。一見バラバラに見える分野が同じ空間で交わることで、来場者は遊びながら地域を知り、自分の暮らしとつながる発見を得ることができます。さらに、多国籍な飲食、ステージ企画も加わり、立ち寄るだけでも新しい興味の扉が開く構成となっています。複数の団体を横断して活動する市民も多く、会場自体が“地域のつながり方”を映し出す場となることも今回の見どころです。一人ひとりの小さな「推し」や興味が、結果として誰かの支えや地域の活力に変わっていく。そんな温かい共助の形を、ぜひ会場全体で肌で感じてみてください。楽しさを入り口に、地域や社会のテーマに触れる体験ができる、これまでにないイベントと言えます。

団体という「枠」を飛び越え、個人がつながる「共助」の街へ。

これからの市民活動はどうなっていくと思いますか？

ー佐藤さん　今回の「ゆめフェス」も、多様な人々が交差する「新しいきっかけの場」となることを目指しています。近年の西東京市では、２０代から４０代の若い世代が中心となって活動する団体が目立つようになりました。これは非常にポジティブな変化です。また、一つの団体に留まらず、異なるグループ同士が自然に混ざり合って活動する姿も多く見られます。団体という「枠」を超えて市民がつながり、助け合う「共助」の形が、この街の活発な市民活動を支えており、この素晴らしいつながりをさらに広げていきたいと考えています。

「ゆめこらぼ市民協働フェスティバル実行委員会」は、実行委員長の佐藤さんをはじめ、公募で集まった市民実行委員が毎月の会議を経て作り上げてきました。テーマ「地元推しが活力に。地域もあなたもイキイキと！」には、そんな私たちの想いが詰まっています。ぜひ、あなたも来年度の実行委員として一緒に活動してみませんか？

ゆめこらぼ HINT!

『一緒に遊ぶ』が仲間を生む

ゲームを使ったコミュニティの広げ方

地域の活動団体が新しい仲間を迎え、メンバー同士の絆を深める際に最も大切なのは、「自然な会話のきっかけ」と「楽しい共有体験」です。近年、その両方を同時に創出するツールとして、ボードゲームやカードゲームが注目を集めています。単なる娯楽の枠を超え、世代や立場を隔てた交流を促進する「コミュニケーションの触媒」として、なぜゲームがコミュニティ形成に有効なのか。その理由を3つの視点から紐解きます。

共通の目的が、心の距離を縮める

初対面が集まる場では、何を話すべきか戸惑う「沈黙の時間」が障壁になりがちです。しかし、テーブルにゲームが一つあるだけで、参加者には「ルールに沿って遊ぶ」という共通の目的が生まれます。無理に話題を探さずとも、「次は誰の番？」「そのカード、強いですね！」といったゲーム上のやり取りが自然な会話を引き出し、緊張を和らげる最高のアイスブレイクとして機能します。

多世代・多属性をつなぐ

地域コミュニティには幅広い世代が集まります。通常、世代間ギャップは壁になりがちですが、ゲームの世界に年齢や立場は関係ありません。対等に笑い合う体験が、単なる「近所の人」を「共に楽しむ仲間」へと変え、世代を超えた相互理解を育みます。子どもが大人に勝つような公平さが絆を深めるのです。

個性と価値観が見え、信頼が育つ

プレイ中には、その人の性格や価値観が自然と表れます。慎重な戦略、大胆な勝負、あるいは他者へのさりげない助け。形式的な自己紹介よりも、一度一緒に遊ぶ方がその人の「人となり」を深く知ることができます。特に協力型ゲームでは、相談や役割分担を通じてチームワークが生まれ、イベント後も続く持続可能な関係性の土台となります。

コミュニティづくりに役立つカードゲーム

●itoレインボー
（時間　5～15分、人数　2～14人）
数字を言葉で「例え」て順に並べる協力ゲーム。価値観のズレが笑いと会話を生む

●ザ・ゲーム
（時間　15～20分、人数　1～5人）
数字を言わずに相談し、全員で手札を出し切る協力ゲーム。達成感でチームの絆を深める

●ミツカルタ
（時間　5～10分、人数　2～6人）
3文字以上の言葉を見つける言葉遊びゲーム。参加者の語彙や個性が光り、会話が弾む

【体験&相談会】
ゲームで深めるチームの絆

「会議の沈黙」や「交流不足」を、ゲームで楽しく解決しませんか？初心者歓迎！組織運営や対話のヒントを、ゆめこらぼで遊びながら体験できます。

- **日時：毎月第4土曜日 午後3時～5時**
- **場所：ゆめこらぼ（申込不要・無料）**